



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ 

6月号 JUN 2015

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



5月14日 JA前橋市清里支所様にて生産者様と目揃え会

暑い！暑い！今年の梅雨は？

本当に暑い日が続いています。5月31日、東京都心の最高気温は32度2分を記録しました。5月としては統計を開始した1876年以降で最も高い気温だそうです。今年の5月は月間を通して暑い日が多く、干ばつとなりました。野菜類にも大きな影響が出ています。

この天候異常は日本だけではなく世界各地で起こっているようです。最近ニュースに取り上げられたのはインドの熱波による被害です。日本とは気候条件が異なるとはいえ、インド南部では4月中旬から熱波が続いており、5月中旬からは連日45度を超える気温となっています。6月1日の政府発表では2200人を超える方が熱中症などにより亡くなっているそうです。

この凄まじいインドの熱波が日本の猛暑に影響しているのでしょうか。気になったので調べてみましたが、熱波が日本まで届いてる！などの直接的な影響は無いようです。しかし、日本の梅雨に多少の影響があるとの記事も目にしました。インドの熱波は平年であれば6月から吹いてくるインド南西部からの季節風（インドモンスーン）が何らかの理由で停滞してしまっているため、湿った風がインド内陸に吹かず、気温が下がらない状態になることで発生しているそうです。インド版の梅雨という感じでしょうか。日本の梅雨はこのインドモンスーンが熱帯モンスーン気団として日本に流れ込み、中国側で形成された暖かい空気（揚子江気団）と接することで発生するのだそうです。ということはインドでの熱波がまだ収束していないということは、インドモンスーンがまだ移動していないということになり、日本での梅雨入りも遅れるということになるようです。実際に日本では沖縄県が5月20日に梅雨入りしています。平年の11日遅れでの梅雨入りとなりました。本州においても現在のところ梅雨入りは遅れる予報となっています。当然とも遠からずだとは思いますが、地球は一つ。つながっていますのでこのような見方もできるかもしれません。ちなみにインドは玉葱の大産地でもあります。2012年の統計によると中国について世界2位の生産量を誇っています。1位の中国は2260万トン、2位のインドは1630万トン強です。日本は19位で109万トンです。

ということで、強引に玉葱の話に持ってきた感がありますが（笑）、5月14日に弊社玉葱契約産地のJA前橋市清里支所様にて今期出荷目揃え会を実施致しました。

当日は生産者様にお集まり頂き、出荷に際してのお願い事項、出荷規格の確認をさせて頂きました。また、圃場視察を行い今後の出荷についての意見交換を行いました。

マルチ便5月号にて既報の通り、暑さの影響にて収穫量減少の可能性をお伝えしました。目揃え会時にも干ばつ・高温の影響にて減収のお話が出ました。6月1日現在では更に下方修正が入っており、群馬県全体では昨年比で2～3割の減収となっているとのことです。4月上旬までは非常に順調に生育していたこともあり残念でなりません。契約におけるトータル数量は残念ながら減少となる見込みですが、マルチ商事には5月最終週より本格入荷しております。品質状況は首のしまりも良く非常に良好です。毎年社販にて弊社従業員も楽しみにしているのですが、今年の新ものも非常においしい玉葱となっています。6月～7月上旬限定での弊社取扱いとなります。

今後の取扱産地としては、JAからつ（現在取扱中）、JA名取岩沼（7月中旬～）が主力となって参ります。既報の通り、佐賀県産は地域によって玉葱生育のばらつきがあり、市況を見てもそれほど量が出てきていません。国内生産量3位の兵庫県淡路島産については一時病害虫の発生により、減収が危ぶまれましたが、一斉防除が功を成しある程度の収穫量が見込めているようです。全体としては佐賀県産が多くなく、関東も少ない状況ですので、今夏はある程度市況は高値推移となりそうです。

府県産地が少な目となると輸入産地の動向が気になりますが、主力の中国産については6月中旬からボリュームのある山東省産となります。しかし全体としては玉葱の作付は2割減といわれています。また、5月最終週に輸入された中国産玉葱が残留農薬基準を上回り、シップバックしているとの情報も入っています。今回は河南省産とのことです。

また、韓国も玉葱需要国ですが、日本同様気候条件で不作となっている様子です。大幅に不足となった場合は中国からの輸入に依存することとなり、日本向けとの取り合いとなる可能性もあります。

府県産シーズンはまだ始まったばかりとなりますが、異常天候同様、今期もまた予測が難しいシーズンとなりそうです。皆様のご要望にお応えできるように産地としっかり連携して業務に取り組んで参りますので、ご愛顧の程宜しくお願い致します。

営業中村のマルチ便PLUS！

6月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産(群馬/佐賀)	北海道産剥き玉葱は5月いっぱいではほぼ終了となりました。CA貯蔵品への切り替わり直前での品質低下はありましたが、北海道玉ねぎに品質には助けられました。現在群馬県産、佐賀県産が入荷。どちらも早生種から中晩生種への切替時期に差し掛かります。品質はどちらも良好。群馬県産は干ばつの影響でレモン球(縦長の玉葱)が多く発生しているように見受けられます。
中国(江蘇省/山東省)	江蘇省の玉葱が入荷しております。下旬頃には山東省の玉葱が入荷予定です。入荷原料については品質良好です。後続の山東省については昨年よりも作付面積が2割減っており、さらに円安傾向ではありますが、9月頃までは品質面、価格面ともに安定する見通しです。
ニュージーランド	ニュージーランド産の黄玉葱については今月中旬で終了予定です。現時点では品質良好です。今期は早めに切り上げをしますが、ヒネの玉ねぎをご要望されるお客様には来期以降もう少し長く(7月中旬頃まで)ご提案していきたいと考えております。ニュージーランド産の赤玉葱についても品質は安定しております。後半に差し掛かりますので品質を注視して良品をお届けしたいと思っております。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315